

2 情報社会について学ぶ意義

カードを用いたアイデア整理法

複数人でアイデアや情報をカードに書き出し、似たものをグループ化しながらグループ間の関係などを考えていく中で、新しいアイデアを生み出そうとする手法。

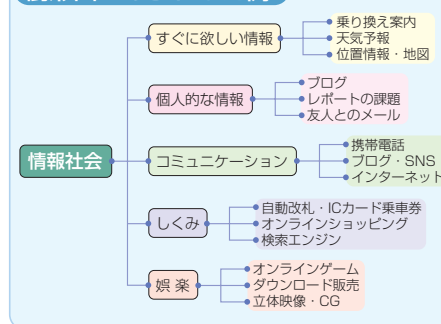
身近な情報社会

情報社会とは何かを身近なことから考えてみよう。まず、これまでの経験から「情報社会だからできたこと」「情報社会だから起こったこと」をできるだけたくさん思い出して整理してみよう。次のような方法でやるとよい。

[5]

⑤カードの内容を整理して、カテゴリどうしの関係を図にあらわす。図のあらわし方にもいろいろな工夫ができる。説明しやすい図のあらわし方を考えてみよう。

樹形図であらわした例



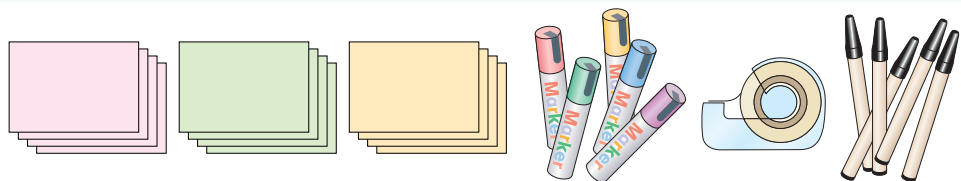
表にまとめた例

情報社会	
すぐに欲しい情報	● 乗り換え案内 ● 天気予報 ● 位置情報・地図
個人的な情報	● ブログ ● レポートの課題 ● 友人とのメール
コミュニケーション	● 携帯電話 ● ブログ・SNS ● インターネット
しくみ	● 自動改札・ICカード乗車券 ● オンラインショッピング ● 検索エンジン
娯楽	● オンラインゲーム ● ダウンロード販売 ● 立体映像・CG

⑥グループでつくった図を見せ合いながら、情報社会についてどのように整理できたのかみんなに紹介しよう。

カードを用いたアイデア整理法

- ①グループに分かれる。
- ②名刺サイズのカードをたくさん用意する。



- ③思い出したことを一つずつカードに書く。できるだけたくさん、いろいろな角度から思い出してみるようにしよう。

[10]

携帯電話でメール	友だちのブログを読む	ICカードの定期券	出欠の連絡をメールで送る	リアルなCGを使ったゲーム
天気予報をいつでも見られる	世界中のニュースが読める	音楽のダウンロード販売	写真をつけてメールを送る	検索エンジンでわからないことを調べる

- ④みんなのカードを集め、カテゴリをつかって分類する。自由な発想で分けてみよう。

情報の種類 どんな情報が手に入ったか	情報の入手経路 どこから入手したか	情報社会の影響 便利になったことは何か
好きなアーティストの情報	インターネットのWebページ	写真をつけてメールを送る
スマートフォンで読む電子書籍	テレビのニュース	ICカードの定期券
天気予報をいつでも見られる	家族や友人から聞く情報	テレビ番組の自動録画
現在地を携帯電話で知る	雑誌や書籍	電子マネー

[5]

普段は意識しないいろいろなことが、情報機器や通信手段の影響を受けていることに気がついたらどうか。その影響が、連絡事項やイベント情報からチケットや衣料品など実物のやり取りにまで及んでいることに気づいたかもしれない。

[10]

情報機器や通信手段がいつも、コンピュータや携帯電話のようなものとして目に見えるわけではないことを発表したグループはあったらどうか。電車やバスを利用するときに、カードをかざすだけで乗り降りができることがあるが、そのカードを情報機器や通信手段とつなげて考えることは少なかったのではないだろうか。わたしたちの生活は、目に見える形でも、見えない形でも、情報社会の中にある。

[15]

わたしたちが情報社会をつくる

[20]

コンピュータやネットワークにかかわる技術は、日々新しくなっていく。そのような技術を駆使して、利用者が望む機能を実現する技術者が、情報社会ではつねに求められている。情報システムを守るのも技術者の重要な役割であるし、[情報セキュリティ](#)を守る技術者も、つねに求められている。

[25]

いっぽう、情報社会では、情報システムの利用者のほんの小さな行動が多くの人々の役に立ったり迷惑になったりすることがある。したがって、利用者としての立場から情報社会にかかわっていくことの意義も非常に大きい。情報社会を生きていく上では、そこで起こっていることを正しく理解し、有効に情報を活用する方法を身につけ、つねに社会の一員であることを意識し、社会に貢献しようとする意志をもつことが大切である。